

視点(836)

I Saw All America (その119) !!

ポートランド物語 (ポートランドはサステナビリティ 1の都市)

アメリカのサステインレーン社(主にインターネットで、グリーンな自治体や商品について情報を発信するメディア)が、サステナビリティ指標で比較した2006年版上位5都市のランキングは次の通りです。

順位	都市名
1位	ポートランド
2位	サンフランシスコ
3位	シアトル
4位	シカゴ
5位	オークランド

サステインレーン社2006年調査

(15項目のサステナビリティ指標で
50の都市を比較した調査)

このランキングの項目は、都市計画、大気・水質、公共交通機関の利用、住宅の取得しやすさ、気候変動・エネルギー政策、地場農業など15項目から成り立っています。

ポートランドは、85点で総合1位になっています。

<ポートランドの各指数単位の順位>

項目	ポートランドの順位
都市の通勤(City Commuting)	10位
主要都市圏の公共交通(Metro Public Transit)	20位
主要都市圏の過密(密集)(Metro Congestion)	25位
大気環境(Air Quality)	2位
水道環境(Tap Water Quality)	2位
廃棄物転換(転用)(Solid Waste Diversion)	5位
企画/土地利用(Planning/Land Use)	4位
都市革新(City Innovation)	1位
住宅価格(値ごろ感)(Housing Affordability)	32位
自然災害リスク(Natural Disaster Risk)	30位
エネルギー/気候変動政策(Energy/Climate Change Policy)	1位
地場食品・農業(Local Food and Agriculture)	5位
環境に配慮した経済(Green Economy)	1位
情報の共有(Knowledge Base)	1位
環境配慮建築(LEED(Green) Buildings)	2位

ポートランドは、「都市計画の革新性」「エネルギー・気候変動の政策」「情報の共有」「環境に配慮した経済」で第1位であり、「大気汚染対応」「水質汚染対応」「環境配慮建築」で2位となっています。

ポートランドは「アワニー原則」に則ったまちづくりを進めており、1993年にはCO₂を20%削減する地域行動計画を、1995年には「2040年地域発展構想」を策定し取り組んでいます。市の計画の中心的価値をサステナビリティとし、持続可能な開発オフィスではリサイクル、グリーン建設、食糧政策、エネルギー効率、再生可能エネルギー、経済開発を所管しています。自転車専用道路が整備され、毎日1万人以上が通勤に自転車を使用し、路面電車など公共交通機関やカーシェアリング、ハイブリッドカーを使用する人も多くなっています。カフェ、レストラン、商業施設も住居に溶け込み、質の高い、健康でサステナブルな全米のモデル都市になっています。

<参考>

アワニー原則 1991年、アメリカの自動車に依存した都市形態とコミュニティの崩壊に危機感を抱いた地方自治体の幹部が、ヨセミテ国立公園のホテル「アワニー」に集まり、持続可能なまちづくりを目指す原則を取りまとめた。

LEED 米国グリーンビルディング協議会(USGBC)による、建物の環境配慮度を評価し認証する仕組み。1995年から始まり、当初は商業用ビル、学校、大規模集合住宅などの建築物を対象にしていたが、2000年から住宅部門の認証も始まった。

(上記内容は、大和田順子氏(ロハスプロデューサー)の「次の10年へ。サステナビリティを実現しよう - LOHAS11速報レポート」を参考かつ使用させていただきました)

(株)ダイナミックマーケティング社³
代表 六 車 秀 之